

貸借対照表

(2025年3月31日現在)

科 目	金額	科 目	金額
<資産の部>	千円	<負債の部>	千円
<b>【流動資産】</b>	174,059	<b>【流動負債】</b>	118,768
原材料及び貯蔵品	8,880	未払金	6,373
前払費用	5,912	未払費用	49,440
		未払消費税等	18,990
短期貸付金	104,208	未払法人税等	5,614
立替金	55,059	預り金	490
		賞与引当金	37,860
		<b>【固定負債】</b>	
		負債計	118,768
<b>【固定資産】</b>	15,536	<純資産の部>	
(有形固定資産)		<b>【株主資本】</b>	10,000
建物		(資本金)	10,000
車両及び運搬具		<b>【利益剰余金】</b>	60,828
工具器具及び備品		(その他利益剰余金)	60,828
リース資産		繰越利益剰余金	60,828
(投資その他資産)	15,536		
繰延税金資産	15,536	純資産計	70,828
資産合計	189,595	負債・純資産合計	189,595

注) 記載金額は、千円未満を四捨五入して表示している。

## 個別注記表

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

## 1. 資産の評価基準及び評価方法

## (1) 棚卸資産

貯蔵品……総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下による簿価切下げの方法により算定)

## 2. 固定資産の減価償却の方法

## (1) 有形固定資産（リース資産を除く）……定額法

## (2) 無形固定資産（リース資産を除く）

ソフトウェア（自社利用）については、社内における利用可能期間（5年）に基づく定額法

その他の無形固定資産は定額法

## (3) リース資産……所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法

なお、所有権移転外ファイナンス・リース取引のうち、リース取引開始日が2008年3月31日以前のリース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。

## 3. 収益及び費用の計上基準

当社は、建築材料の加工を主な事業としている。加工業務の履行については、月初から月末までの加工業務の遂行によって役務提供が完了することにより、当社の履行義務が充足されると判断しているため、提供する期間にわたって収益を認識している。

なお、業務の請負における対価は、締切当月に回収しており、重要な金融要素は含んでいない。

## 4. その他計算書類の作成のための基本となる重要な事項

## (1) グループ通算制度の適用

グループ通算制度を適用している。

(会計方針の変更に関する注記)

## 1. 「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」等の適用

「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」（企業会計基準第27号2022年10月28日。以下「2022年改正会計基準」という。）等を当事業年度の期首から適用している。

法人税等の計上区分（その他の包括利益に対する課税）に関する改正については、2022年改正会計基準第20-3項ただし書きに定める経過的な取扱い及び「税効果会計に係る会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第28号2022年10月28日）第65-2項（2）ただし書きに定める経過的な取扱いに従っている。

これによる計算書類に与える影響はない。

(株主資本等変動計算書に関する注記)

## 1. 当該事業年度の末日における発行済株式の総数

普通株式

140株

(関連当事者との取引に関する注記)

親会社及び法人主要株主等

属性	会社名	当該株式会社 の議決権等の 所有割合	当該関連 当事者の 議決権等の 所有割合	科目	期末残高 (円)
親会社	旭化成(株)		間接100%	短期貸付金	104,208,309
				立替金	149,424
	旭化成建材(株)		直接100%	立替金	54,884,065

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項なし。

(収益認識に関する注記)

収益を理解するための基礎となる情報は、「重要な会計方針に係る事項に関する注記」の「収益及び費用の計上基準」に記載の通りである。